

自分たちの地区の危険な箇所を確認しよう！

～第3回地区版タイムライン検討会を開催しました～ 紀南河川国道事務所

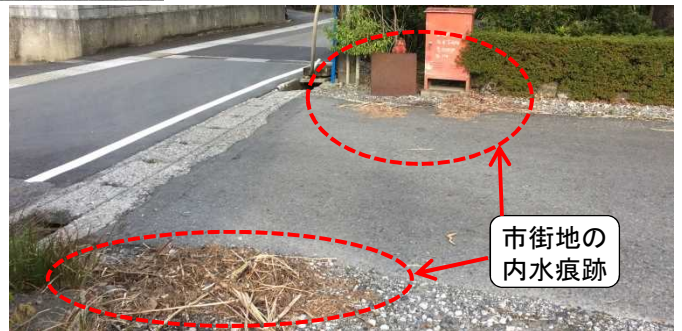
熊野川減災協議会では、協議会取組方針の一つである「自主防災意識の向上」に向けて、「地区版タイムライン」の作成を進めています。

熊野川支川相野谷川(おのだにがわ)周辺の紀宝町鮎田(ふなだ)地区の関係住民が集まって地区を歩き、10月の台風第21号の内水発生箇所や排水施設を確認し、鮎田地区の低い場所を確認しました。その後、第3回地区版タイムライン検討会を開催しました。これまでの議論を踏まえ、年内のタイムライン完成を目指します。

■日時:平成29年11月20日(月)14:30～20:00

■場所:鮎田構造改善センター

■参加者:紀宝町鮎田地区住民等(15名) 主催:鮎田地区
〈自主防災会、自治会、消防団、民生委員、児童福祉施設〉
紀宝町、紀南河川国道事務所



台風第21号での課題・検討会決定事項

- ・輪中堤に守られた地区でも**集中的な降雨では内水により避難が難しくなる。**
- ・二段階避難は**台風接近の情報錯綜時には不可能**だった。一度で済む避難先を確保する。
- ・これまで決められていた避難先は台風第21号時、周辺が浸水したため**避難場所を変更**する。
- ・自治体情報に頼らずに地区の避難を考えるには**独自の避難開始指標(外水位、降雨予測、時間雨量、施設操作状況)**を設定し情報を入手する必要がある。

⇒ **次回検討会で地区版タイムラインを策定**する。

【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査課
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)

水防災意識社会
再構築ビジョン

